

Contents

1...トップインタビュー:

新中期経営計画「FELIZ 115」

ユニ・トップ企業としての存続基盤を
確立してまいります。

2...財務データ(連結)

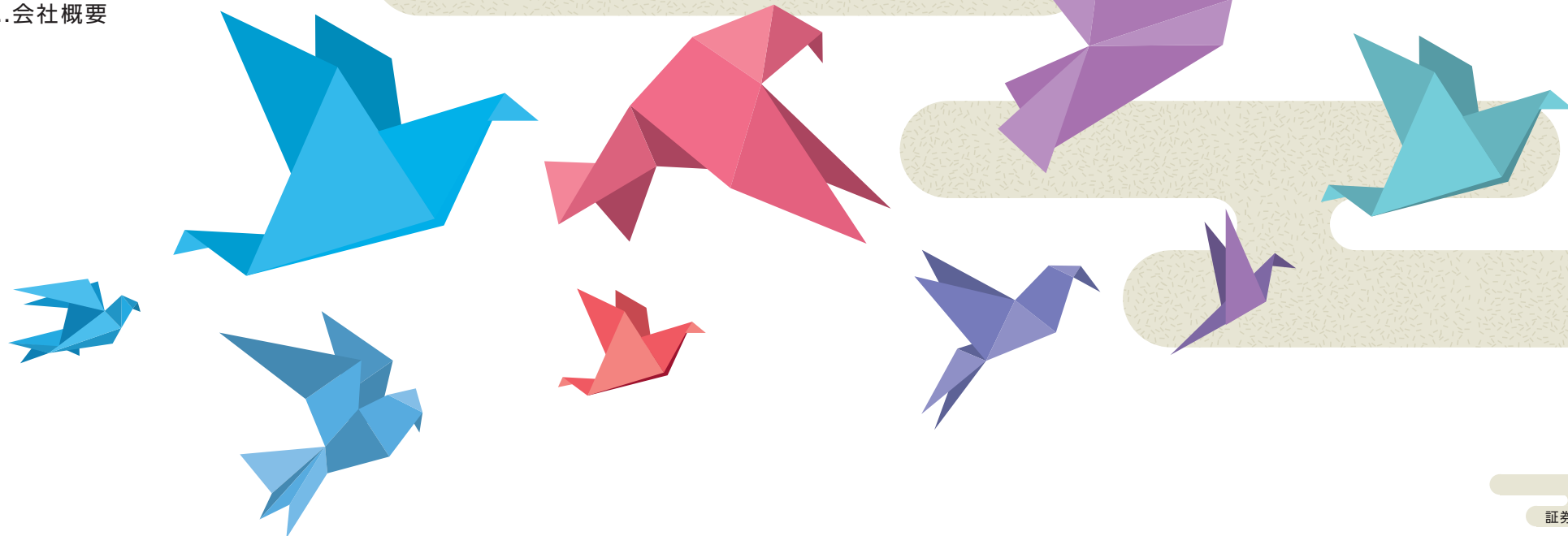
3...新中期経営計画

4...事業セグメントの概況

5...連結財務情報

6...決議結果・株式の状況

7...会社概要



新中期経営計画「FELIZ 115」の下、 ユニ・トップ※企業としての存続基盤を 確立してまいります。

2020年4月はDKSグループの
新中期経営計画「FELIZ 115」の幕開けとなります。
「REACT1000」で行った投資を礎とし、
事業再構築と新規事業を勇猛果敢に
取り組んでまいります。

代表取締役 会長 兼 社長

坂本隆司



▶ 前計画「REACT1000」の振り返り

当初目標の売上高750億円、営業利益60億円は、
残念ながら達成することができませんでした。期待
した太陽電池の極端な不振により、3年目に売上高
を670億円に下方修正しました。営業利益では、初
年度から3年連続して過去最高を更新することがで
きました。しかし、需要が旺盛なIT電子関連材料の
想定以上の増産による経費増や、原料価格の高止まり
などが利益を圧迫しています。最終的に、2019年
度は前年度比増収微減益という結果になりました。

ステークホルダーとして、社員、株主、顧客、社会
を念頭においた20項目の定性目標の全てに着手し
ました。将来に向けた土台作りの設備投資を計画的
に進めています。ライフサイエンス関連では新たに

2社をグループに加え、新工場も建設しました。IT・
電子関連事業では、新プラントに着工し、本年6月に
完成します。

本年3月に、経済産業省、東京証券取引所が共同
で取り組む「健康経営銘柄2020」に選定されまし
た。化学部門では当社を含めて2社だけです。また、
日本政策投資銀行の健康経営格付の最高ランク、
および経済産業省のホワイト500企業として、共に
3年連続認定されました。SDGs、ESG経営を意識し
た運営を通じて、社是である「産業を通じて、国家・
社会に貢献する」ことに努めております。総じて、企
業価値を高めることができた5年間であったと振り返
っています。

▶ 新中期経営計画「FELIZ 115」について

2030年に、前計画最終年度の連結売上高で2倍以
上、営業利益で3倍以上の高収益企業をめざします。
次の5年の新中期経営計画は、「FELIZ 115」と名付
けました。スペイン語で幸福を意味し、創業115周
年となる2024年度に向かう幸福度経営計画です。
「FELIZ」を頭文字にして5つのスローガンを定めまし
た。FUTURE(未来)、ENVIRONMENT(環境)、LIFE
(生命)、INNOVATION(革新)、Z-FLAG(挑戦)です。

5年後に、連結売上高850億円、営業利益100億円の
目標実現に取り組めます。独自性で評価されるユニ
・トップ企業としての存続基盤を確立する行程です。
SDGs、ESGの取り組みは不変です。事業領域の拡大と
新規事業の育成を加速するためのM&Aも検討します。

新中期経営計画は、1月下旬に発表しました。その4カ月
前の秋、中間決算発表時にニューヨーク市場の高騰を
異常と見ていました。

新型コロナウイルスの蔓延がきっかけとなりましたが、「ブ
ラックスワン(黒い白鳥)2020」とよばれる経済危機が
発生しました。各国の孤立化と分断化が加速していま
す。「FELIZ 115」のスタート前の事象であり、計画
遂行の足元を固める機会ととらえました。会社を取り
巻くサプライチェーンを再確認しました。孤立化には結
束を、分断化には連帯をと社内に訴えています。

▶ 計画実現におけるリスクについて

VSM(バリュー・ストリーム・マップ)という用語
があります。価値・流れ・位置づけと解釈します。コ
ロナの問いは、この3つに関連する変化への企業対
応と考えました。商品価値がデジタル化しています。
物流の流れが孤立化、分断化にさらされています。
位置づけの変化として、一部に見る化学業界の再編
の動きがあります。当社の社訓が対処を示します。
「品質第一」による顧客取引の深化、「原価逓減」の
リードタイムで見る流れの見直し、「研究努力」の用
途・機能の開発によるユニ・トップという位置づけの
確立です。新計画開始前に再確認しました。

パンデミックの終息を確信できるのは、秋以降と
考えています。5年後の目標数字は不変としながら
も、初年度は機動的に事業運営を行います。1年目と
2年目は、不採算事業の改善に注力します。昨秋から

金融機関と話し、本年2月に月商の1.5カ月分の資
金を調達し、運転資金および設備資金等に加えまし
た。コロナショックを機に、見込まれる経費等は前
倒しの処理をしました。将来のための投資は、予定
通り計画的に行います。経済の好転が判明すれば、
垂直的立ち上げが可能となるように生産現場を整
備しています。

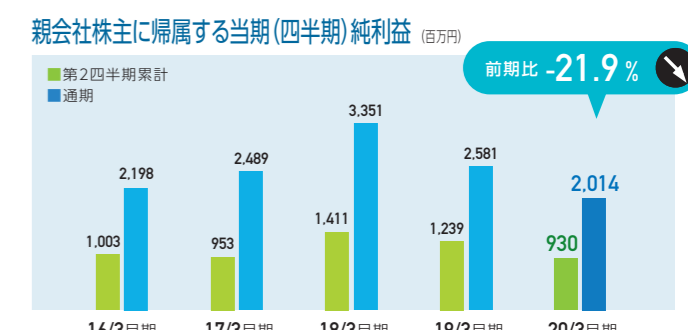
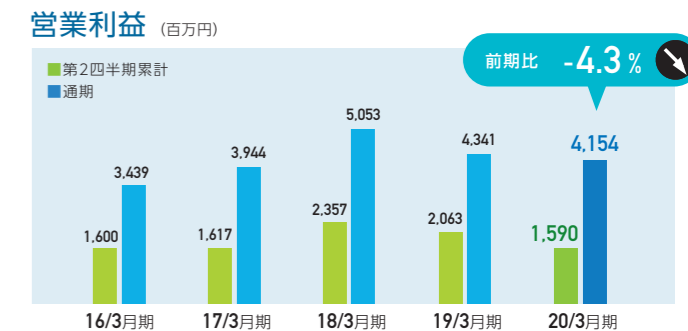
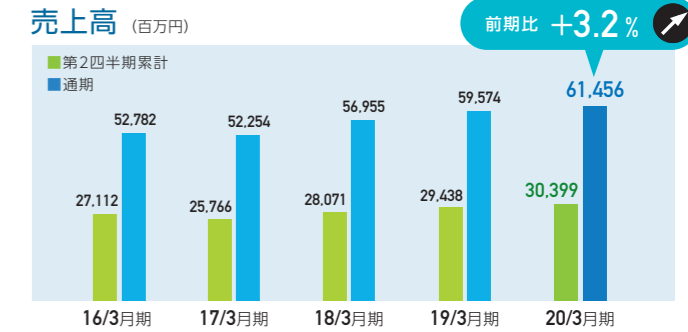
▶ 株主のみなさまへ

戦後最大の経済危機といわれるコロナショック
の渦中にあります。2008年9月のリーマンショック
を振り返り、アンデルセンの童話を思い出します。み
にくいアヒルの子は、他のひなと違って黒い羽根でし
た。そのため苦勞しながら育ちますが、やがて羽が
生え代わり、立派な大白鳥となりました。コロナは
太陽の周りの光の輪に由来します。スペイン語のコ
ロナは、クラウン、王冠の意味です。

リーマンショックは、当社100周年の前年度に発
生しました。危機を好機にと前向きに考え、全社員
が結束してV字型回復を実現しました。「FELIZ」の
旗の下、全社一丸となって計画の実現に努めます。
ブラックスワンの危機を乗り越え、コロナにも羽ば
たく大白鳥になりたいと念じています。株主のみな
さまには、より一層のご支援を賜りますようお願い
申し上げます。

※「ユニ・トップ」とは、「ユニークさ」で、ニッチ市場で「トップとなる」存在感
ある企業になること、および課題を解決する組み合わせ技術と小回りの利く
少量多品種の製品で顧客に寄り添う企業像を示します。

財務データ(連結)



新中期経営計画「FELIZ 115」

2030年の企業像をめざし、2025年3月期を最終年度とする
5カ年経営計画「FELIZ 115」を始動しました。

目指す企業像

ユニ・トップ (独自性で評価をされる)
企業として、4つのステークホルダーと
ハピネスを共有する経営を行います。

FELIZ: ハッピーを意味するスペイン語

前中期経営計画

期間

2015/4~2020/3



実績

(連結)	目標値	2020年3月期 実績
売上高	670 億円	614 億円
営業利益	60 億円	41 億円
営業利益率	9.0%	6.8%
純利益	36億円	20億円
ROE	10.0%	6.4%
海外売上高比率	20.0%	16.8%

新中期経営計画

期間

2020/4~2025/3



基本方針

- 1 アクチャル (既存) の質的充実、ネクスト (周辺) の拡大、ドリーム (新規) の開発・育成。
- 2 資産の最大限の活用 (総資産回転率1.0回を目標)。
- 3 本部制を敷き、経営資源を最適配分。
貢献に報いる業績評価体系により、社員幸福度経営を継続。

目標値

(連結)	2025年3月期
売上高	850 億円
営業利益	100 億円
営業利益率	11.7%
総資産	920億円 (予想)
総資産回転率	1.0回
設備投資額	120億円 (5年累計)
売上高研究開発費率	5.0%
ROE	10.0% 以上

重点施策

経営資源の再構築

貢献しない事業からの撤退を、
初年度、2年度に実施します。

稼ぐ力の強化

霞工場ほか、先行投資した
事業の早期刈り取りを行います。

次期・中計「DKS2030」(仮)

期間

2025/4~2030/3

DKS
2030

テーマ

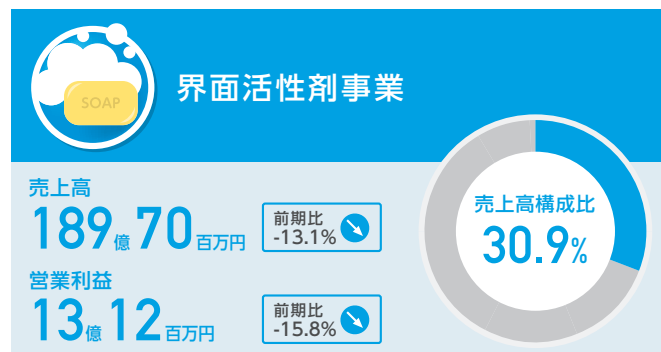
高収益ユニ・トップ企業の実現

目標値

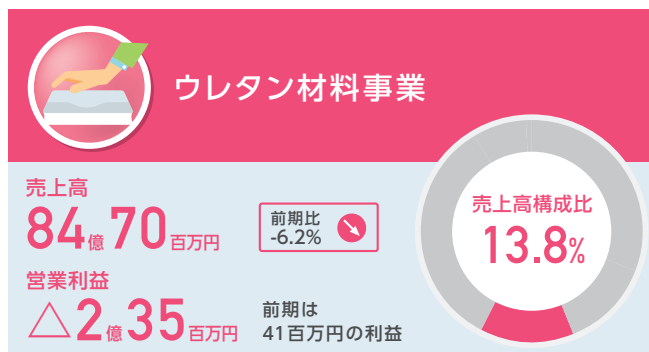
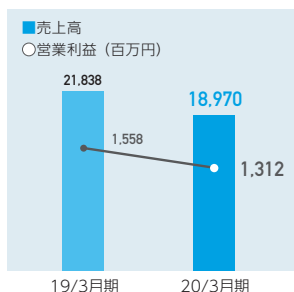
(連結)	2030年3月期
売上高	1,350 億円 (対2020年3月期 2倍以上)
営業利益	180 億円 (対2020年3月期 3倍以上)

事業セグメントの概況

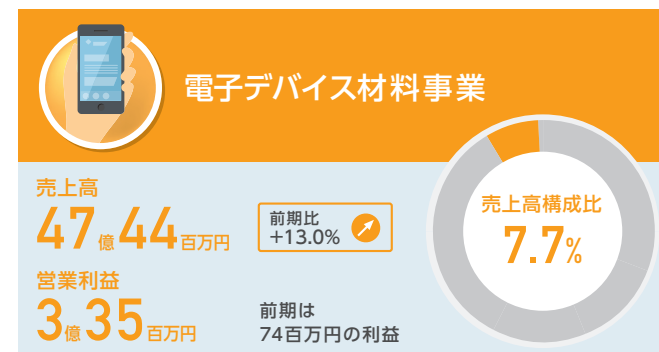
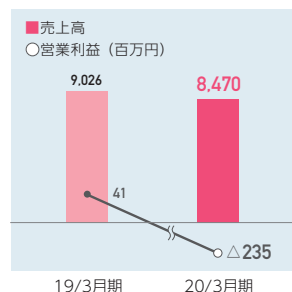
(注) 新セグメントにて数値を更新しております。



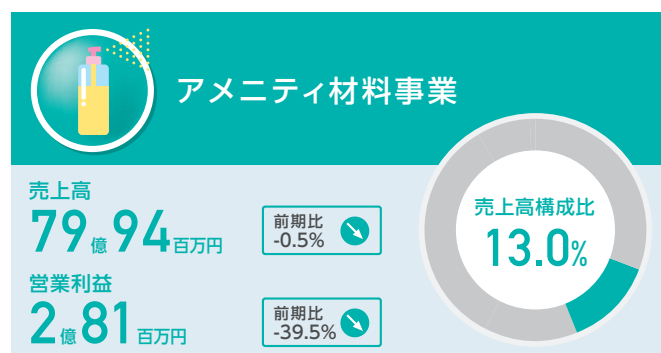
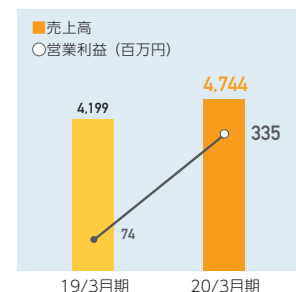
国内では、IT・電子用途は大幅に伸長しましたが、石鹸・洗剤用途、塗料・色材用途、ゴム・プラスチック用途、機械・金属用途は低迷しました。その結果、売上高は総じて低迷しました。



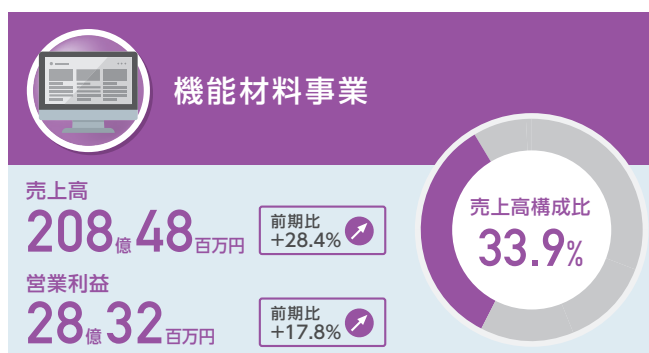
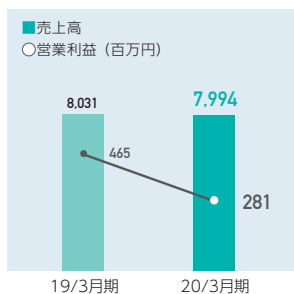
土木用薬剤は好調に推移しましたが、フロン規制に関連する環境配慮型の合成潤滑油、土木・建築用材料は大きく落ち込みました。その結果、売上高は総じて低迷しました。



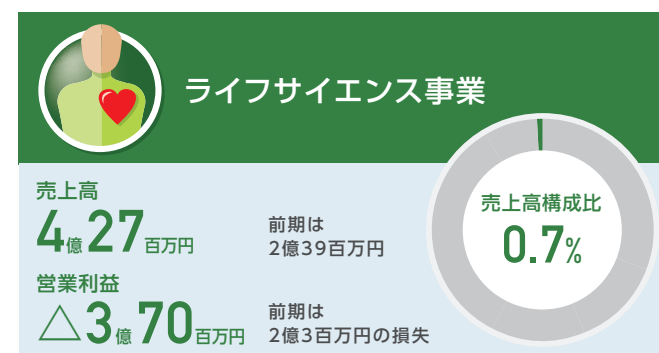
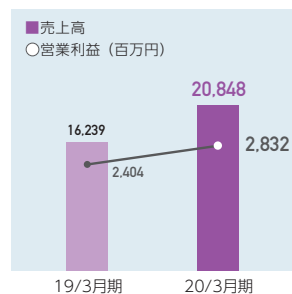
ディスプレイ用途のイオン性液体が好調に推移し、太陽電池用途の導電性ペーストは大幅に伸長しました。その結果、売上高は総じて大幅に伸長しました。



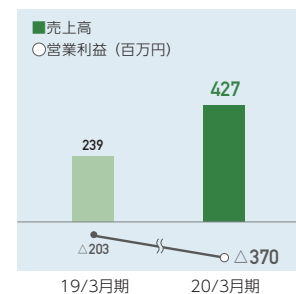
国内のシヨ糖脂肪酸エステルは食品用途が堅調に推移しましたが、ビニル系高分子材料はゴム・プラスチック用途がやや低調に推移しました。その結果、売上高は総じてやや低調に推移しました。



国内では臭素系の難燃剤はゴム・プラスチック用途が堅調に推移し、海外ではゴム・プラスチック用途が顕著に落ち込みましたが、光硬化樹脂用材料はIT・電子用途が顕著に伸長しました。その結果、売上高は総じて顕著に伸長しました。

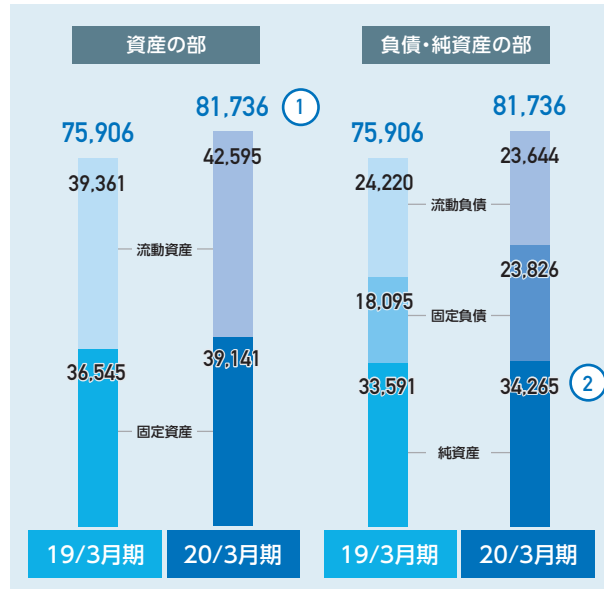


冬虫夏草は堅調に推移しましたが、医薬品原料や天然物からの抽出物の濃縮化、粉末化による健康補助食品等は伸長しました。その結果、売上高は伸長しました。

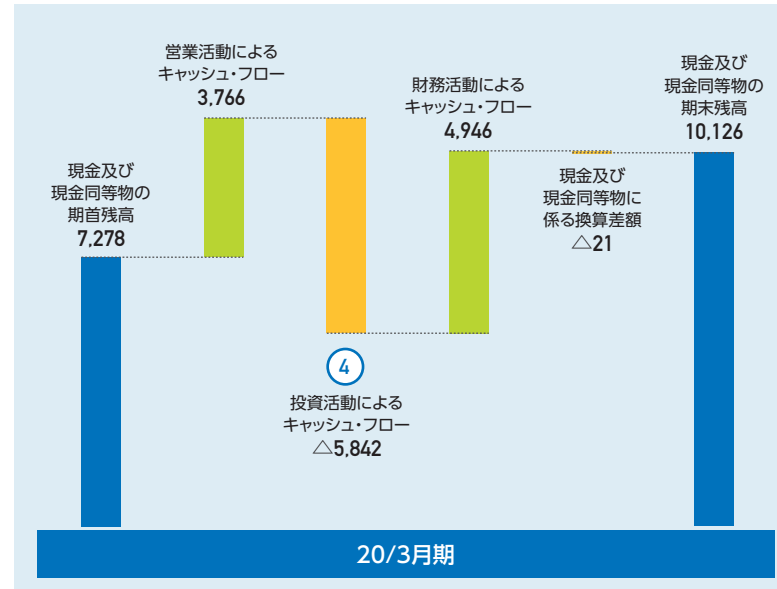


連結財務情報

連結貸借対照表 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



ポイント

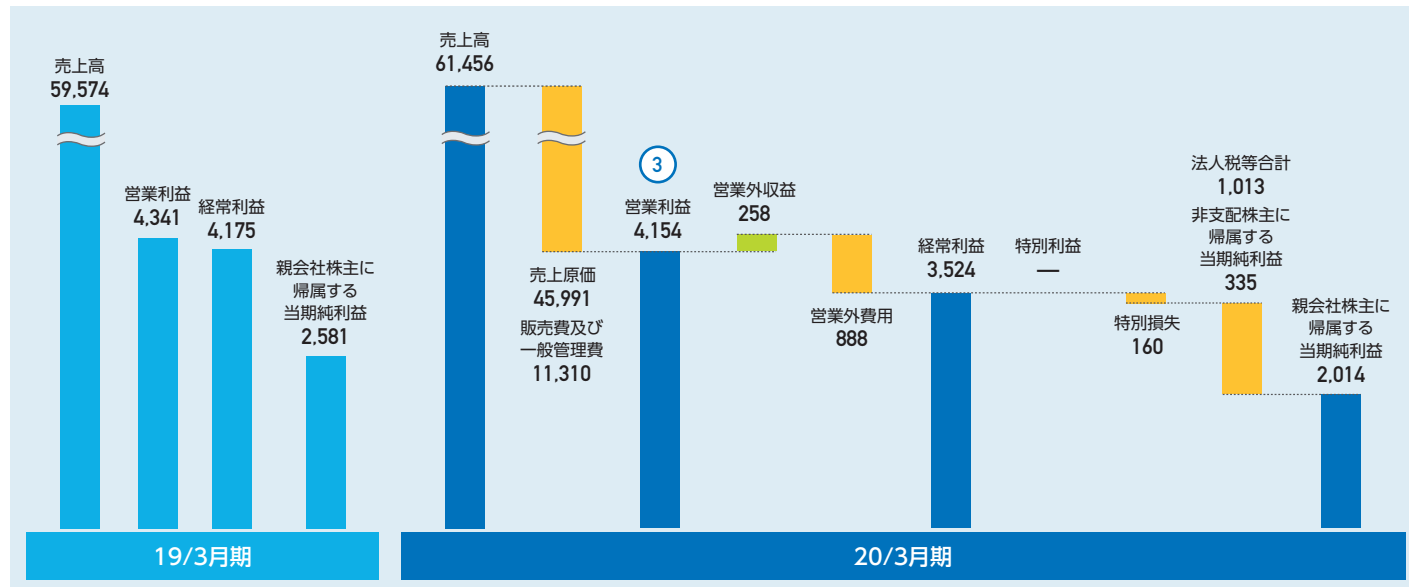
① 総資産

前連結会計年度末に比べ58億29百万円増加し、817億36百万円となりました。流動資産は、主に受取手形及び売掛金が4億49百万円減少しましたが、現金及び預金が28億51百万円、商品及び製品などのたな卸資産の合計が4億94百万円増加しました。固定資産は、主に霞工場で建設中の光硬化樹脂用材料製造設備等により、有形固定資産の合計が35億49百万円増加しました。

② 純資産

前連結会計年度末に比べ6億74百万円増加し、342億65百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益20億14百万円及び剰余金の配当10億67百万円により、利益剰余金が9億47百万円増加したことなどによるものです。

連結損益計算書 (百万円)



③ 営業利益

前連結会計年度に比べ1億87百万円減少し、41億54百万円となりました。これは『機能材料』セグメントのIT・電子用途等を中心とした高付加価値品の売上高が顕著に伸長しましたが、のれんの償却など営業経費がかさんだことによるものです。

④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は58億42百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得55億38百万円などにより、資金が減少したことによるものです。

決議結果

株式の状況 (2020年3月31日現在)

第156期定時株主総会決議のご通知

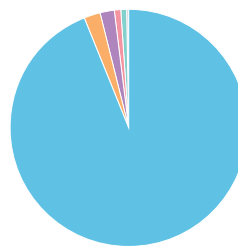
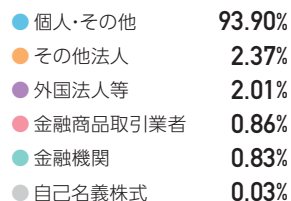
2020年6月24日開催の第156期定時株主総会は、お蔭様をもちまして終了いたしました。その決議の結果につきましては、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しております。

こちらをご覧ください
<https://www.dks-web.co.jp>

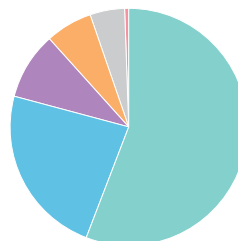
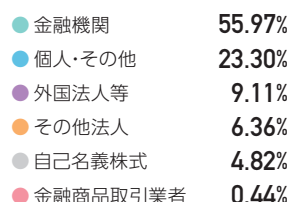


株主分布状況

株主数比率



株式数比率



大株主一覧(上位10名)

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,914,700	18.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	893,200	8.78
第一生命保険株式会社	613,400	6.03
株式会社みずほ銀行	427,000	4.20
株式会社京都銀行	417,000	4.10
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	380,000	3.74
朝日生命保険相互会社	339,400	3.34
DKS取引先持株会	297,400	2.92
第一工業製薬従業員持株会	260,884	2.57
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	157,200	1.55

(注) 1.当社は自己株式を514,826株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主優待のご紹介

対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された

当社株式 **100株(1单元)以上**

を保有する株主様

贈呈時期

7月上旬頃の発送を予定しております

※日本郵便「ゆうパック」にて配送

株主優待の内容

保有株式数	優待商品	
	スダチン 1カ月分(60粒) 池田薬草(株)	カイコ冬虫夏草 5日分(40粒) (株)バイオコクーン研究所
100株以上～ 1,000株未満 3,000円相当		
1,000株以上 5,000円相当		

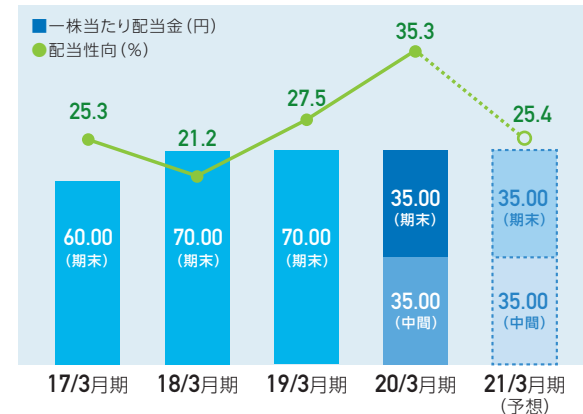
スダチン

すだちの果皮から抽出、精製したエキスで健康増進作用のあるポリフェノールのあるポリフェノール的一种スダチチンを含んでいます。みかんの皮やシークワーサーなどに含有するノビレチンに構造が似ており、その有用性を研究しております。

カイコ冬虫夏草

一般的に中国では古くから不老長寿、滋養強壯の漢方薬として用いられてきました。免疫力や呼吸器、内臓機能の向上、疲労回復に効果があるといわれています。

配当金・配当性向の推移



当社は、株主のみなさまへの利益還元を機会を充実させるため、2020年3月期は中間配当を実施いたしました。
 当社は、2018年10月1日をもって当社普通株式について5株を1株にする株式併合を行いました。これに伴い、2017年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

ご注意

●優待品は、株主名簿に登録されているご住所にお届けいたします。 ●配送の日時指定はお受けいたしかねますので、ご了承ください。 ●株主様の住所変更のお申し出は、株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、株主様の個人情報は、法令および当社個人情報保護方針に基づき厳重に管理を行っております。

会社概要 (2020年3月31日現在)

会社概要

社名	第一工業製薬株式会社
創業	明治42年4月
創立	大正7年8月
資本金	88億9,500万円
従業員数	531名 (連結1,032名)

事業所

- 本店
- 本社・研究所
- 東京本社
- 大阪支社
- 名古屋支店
- 九州支店
- 四日市工場 千歳地区
- 四日市工場 霞地区
- 大瀧工場
- 滋賀工場

株主メモ

創業年月	明治42年4月 (1909年4月)
事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
配当	期末配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日
単元株式数	100株
発行済株式総数	10,684,321株 (2020年3月31日現在)

お取扱窓口 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主さまの各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)、みずほ証券 (株) およびみずほ信託銀行 (株) にてお取次いたします。

お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 (株) 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

未払配当金のお支払 みずほ信託銀行 (株) および (株) みずほ銀行の各本店および全国各支店

上場取引所 東京証券取引所 (証券コード4461)

TOPIC

第34回 ネプコン ジャパンに出展

関係会社である晋一化工股份有限公司*は、第34回ネプコン ジャパンに出展しました。テーマは「5Gから6Gへ そして未来へ」。日本市場向けに、プリント配線板用の低誘電材料や車載の軽量化に適した材料、そして光学材料である量子ドット印刷インクを出展。また当社も電気絶縁材料を同時展示。プリント配線板関連材料を中心に展示しました。

*晋一化工股份有限公司 (本社：台湾台北市、董事長：賴宏榮)



2020.1.15~17 東京ビッグサイト (東京都江東区)

第一工業製薬株式会社

〒601-8391 京都市南区吉祥院大河原町5
TEL 075-323-5911 FAX 075-326-7356 <https://www.dks-web.co.jp>

DKSレポート (統合報告書)
はこちらのQRコードから

